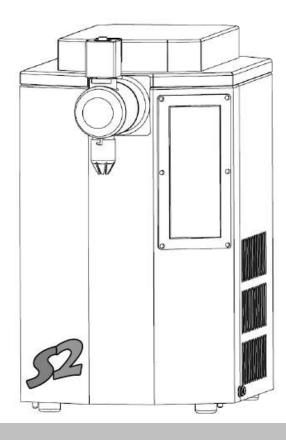
取扱説明書

Vaihinger SAN MAT

ドイツ ファイヒンガー社製 生クリームホイップマシン ザノマット

Schlagsahne-Automaten

S2



よく読んで安全に正しくお使いください。

- ●ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。特に「安全上の注意」はご 使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
- ●幼いお子様にはさわらせないでください。また、取扱説明書の内容が理解できない方の使用はお控えください。
- ●取扱説明書は大切に保管してください。紛失した場合は、お買い上げいただいた販売店、またはルーツ貿易までご連絡ください。

2020/12 改定



パーツ更新履歴

[2020.3] 0 リング(ゴムパッキン)のカラー化

2020 年 3 月以降出荷分より、O リング(ゴムパッキン)が灰色から青色に徐々に変更されます。(機種や入荷時期により異なります) これは O リングが劣化した際に万が一異物としてクリームに混入した場合に発見・認識しやすくなるものです。素材、サイズの変更はございません。



[2020.3] 洗剤の変更

EU のレギュレーション No.528/2012(化学製品についての規定)により人体の健康や環境保護への規制が変更され、より影響の少ない洗剤に変更することになりました。今後はメーカー推奨洗剤を必ずご使用いただきますようお願いいたします。

メーカー推奨洗剤 「プロバイオクリーン N20ND」 (取り扱い:2kg 入りボトル)

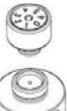


[2019.4] 新型エアレギュレーションダイヤル

2019 年 3 月までの機械では、右図のエアレギュレーションダイヤルが付属していましたが、2019 年 4 月以降の機械につきましては左図の新型エアレギュレーションダイヤルが付属しております。より細かい調整が可能になりました。

旧エアレギュレーションダイヤル

ダイヤル上部に目盛シールが貼っ てあります。



新エアレギュレーションダイヤル

ダイヤル側面に目盛が刻印されて います。







パーツ更新履歴

[2018.6] クリームフリー電磁弁ユニット (ユーロ・フェイボリットを除く)

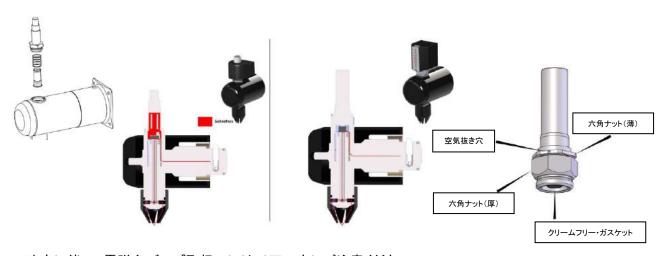
電磁弁はクリーム射出スイッチを切ったときに、液だれを防ぐための装置です。この部分が改良される ことで、より衛生的に、より簡単に使用することが可能になりました

旧電磁弁ユニット

マグネットバルブ内にクリームが 通る構造となっており、定期的な 内部の洗浄が不可欠です。

新電磁弁ユニット

マグネットバルブ内にクリームが 入らない構造となっており、洗浄の 必要がありません。



改良に伴い、電磁弁バルブ取扱いには以下の点にご注意ください。

- 1) バルブ(右図)を水や洗浄液に浸さない。
- 2) 六角ナット(薄)と(厚)を開けて分解しない。
- 3) クリームフリー・ガスケットをねじったり引っ張ったりしない。

↑ いずれも故障の原因となりますので、必ず守るようにしてください。





重要事項

ザノマットをご使用いただくにあたり、 常に最良のホイップクリームを得るために、以下の点を留意してください。

1)生クリームは乳牛の食べる飼料の種類や量、また季節によって状態の変わる自然の原料です。これらの要素は、ホイップしたクリームの嵩や安定性に少なからず影響を与えます。

ザノマットは、より安定したホイップクリームを得るために、コンテナを収めるケース及びホイップクリームが出てくる直前まで常に5℃前後を維持します。(右写真:国際特許を取得した先端部分の冷却システム) これがホイップクリームを安定的に供給するために不可欠な要素であり、私たちがザノマットをお勧めする理由でもあります。

安定した状態のホイップクリームを得るために、すべての工程で低温が維持されることは大変重要であり、わずかな間でもクリームの温度が上がってしまうとクリームの品質に影響を与え、場合によってはホイップが難しくなることもあります。



2)細菌の侵入・繁殖を防ぐために、毎日の清掃は非常に重要です。だからこそ、ザノマットは誰が清掃しても理想的な清掃状態が得られるように設計されています。

ザノマットは、クリームが通るパーツを細かく分解することができ、衛生状態を目で確認することができます。常に衛生的に使用できることで安心です。

3) ザノマットを設置する環境、毎日の清掃状況などの条件によって、機械本体の寿命が変わってきます。

粉塵が舞う厨房環境の場合、冷却用コンプレッサーの放熱板が目詰まりし、コンプレッサーが損傷することがあります。また、清掃の頻度や工程が不十分だった場合、ポンプやモーター、冷却部分の不具合の原因となり、修理が必要となることがあります。

常に良い状態でザノマットをお使いいただけるように、取扱説明書を必ずお読みください。





目次

| 1) | 開梱と内容物確認 | 6 |
|-----|---------------------------------------|----------------|
| 2) | ザノマットを安全にお使いいただくために | 6.7 |
| 3) | 各部分の説明 | 6 ~ 9 |
| 4) | タッチスクリーンの説明 | 10 |
| • | 使用前の準備 | 11,12 |
| 6) | クリームの投入 | 12 |
| • | ホイップクリームの固さの調整 | 13、14 |
| • | ホイップクリームの射出 | 15 |
| 9) | 洗浄について | 16 ~ 21 |
| • | フロンガスの点検 | 22 |
| | 不具合があった場合の対処 | 23~25 |
| | * * * * * * * * * * * * * * * * * * * | 25 |
| | | 25 |
| | 本体・パーツ展開図 | 26,27 |
| | | 28 |
| メン・ | テナンス依頼書 | 29 |

1) 開梱と内容物確認

- ・ 輸送用のケースから本体を取り出し、輸送中にダメージがなかったか確認してください。もしこの時点で問題があれば輸送会社や購入先に連絡をしてください。
- ケースの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。
 - ●取扱説明書
 - ●工具

ソケットレンチ、スパナ、押し出し棒 洗浄ノズル、クリーニングブラシ(中、小、ミニ) O リング(ゴムパッキン)、食用ワセリン

日本国内で出荷された機械は、輸入元にて 試運転を済ませた状態でお届けしています。



2) ザノマットを安全にお使いいただくために



ザノマットは使用時間外も冷却を入れたままでご使用ください。数日使用しない場合は電源を切り、 使用前に洗浄してください。



ザノマットはクリームのホイップ以外の目的で使用しないでください。故障の原因となります。



洗浄、修理には、メーカー推奨の洗浄液、専用の部品を使用してください。他の洗浄液、部品を使用することによる故障は、メーカーの保証対象外になります。



ザノマットの洗浄に高圧蒸気を使ったり、直接ホースで水をかけたりしないでください。電気系統などの故障の原因となります。



ザノマットの電源は、壁面のコンセントから直接繋いでください。 アースは必ずつないでください。漏電の原因となります。



ザノマットは安定した平らなところに設置してください。 ザノマットは室温が 40℃以下の場所でご使用ください。



火器など高温になるものの近くでの使用は避けてください。本



体の蓄熱を防ぐために、左右の壁などからそれぞれ 5 cm空けて設置してください。



本体左右のスリット、本体底部はフィルターなどで塞がないでください。冷却機能に支障をきたす場合があります。



直射日光が当たる場所での使用は避けてください。





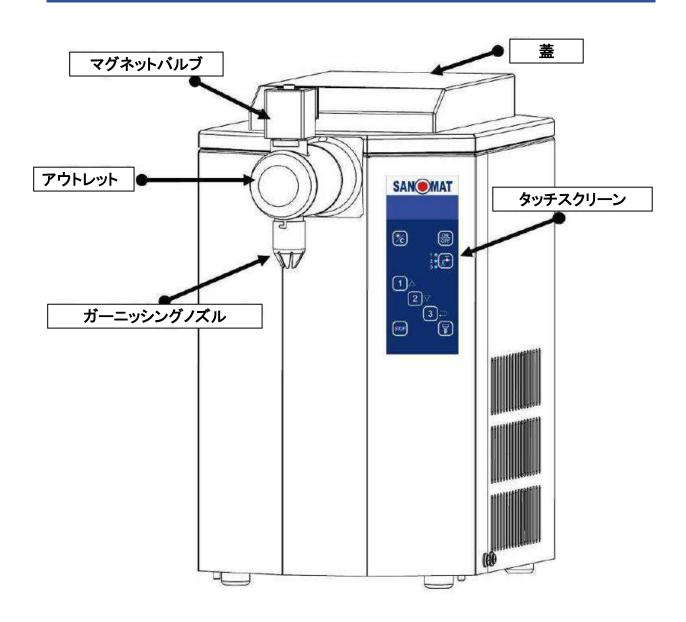




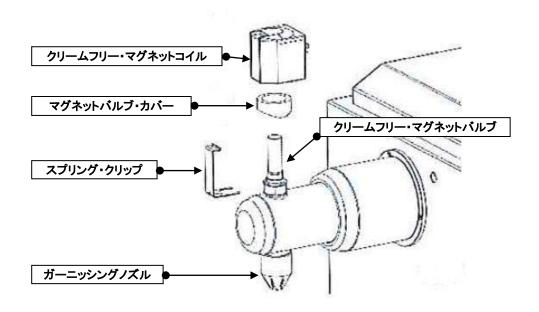
↑ 洗浄は常に正しく行ってください。

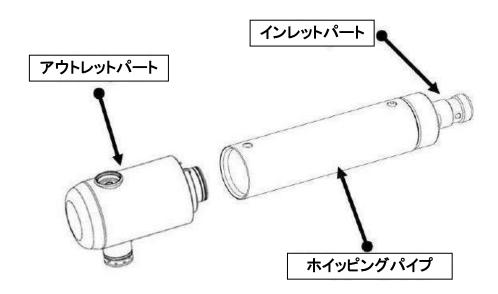
- *100V 50/60Hz(日本国内用)のフューズは最低 15 アンペアを用意してください。
- *移動、搬送された機械は、冷却ユニットが正常に稼働するために電源を入れるまでに 2 時間空けてく ださい。

3) 各部分の説明



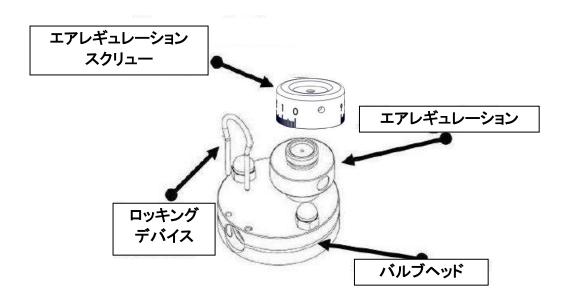


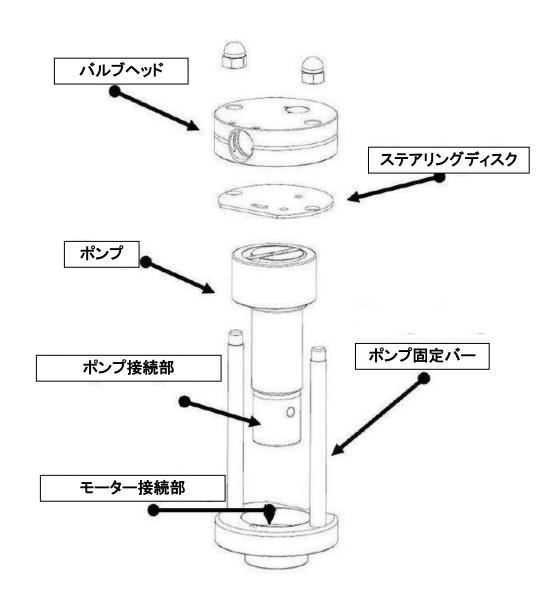








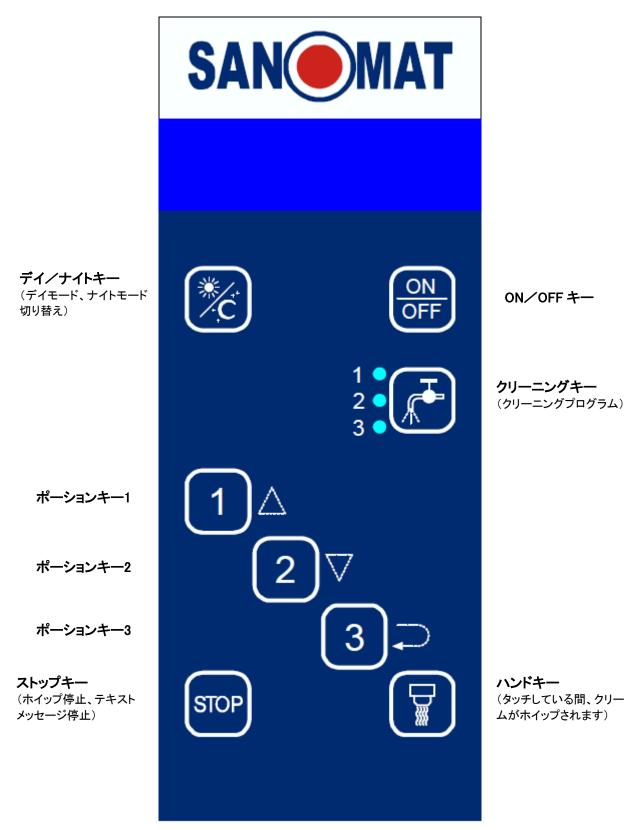








4) タッチスクリーンの説明



ザノマットの操作は、前面のタッチスクリーンで行います。キーを軽く触れる(タッチする)だけで操作することができ、簡単に拭き掃除できます。





5) 使用前の準備

- ・コンセントを差し込み電源を入れると、ディスプレイに"OFF"の表示が現れます。冷却機能は働いていません。ON/OFF キーを続けて3秒タッチ(長押し)すると電源を入れたり切ったりできます。
- ・ 冷却機能は最初の清掃工程を行ったあとでないと働きません。
- ・ディスプレイに表示された「Please Cleaning」というテキストメッセージを表示しないようにするには、ストップキーを押します。ただし、表示されなくなったことで衛生環境が整ったことにはなりません。
- ●最初に電源を入れた時にはデイモードで立ち上がります。ディスプレイには洗浄を要求する表示が 現れます。
- ●コンセントを抜いた場合でも、時間設定やポーション設定は維持されます。
- ●ザノマットS2には冷却機能保護システムがあります。一度冷却機能をストップしたあとは、次に冷却機能が働くまで 2 分間のアイドリングタイムを確保します。そのことにより、コンプレッサーが保護され、過充電を防ぎます。仮に停電などによって電力供給が立たれた場合、自動的に 2 分間のアイドリングタイムが作動し、その間に圧力バランスを整えます。
- デイモードになると、ディスプレイに「Please Cleaning」というテキストメッセージが表示されます(英語)。クリーニングが必要な場合はクリーニングキーを続けて3秒タッチし、クリーニングをスタートさせてください。クリーニングの必要がない場合はストップキーをタッチすることでクリーニングのテキストメッセージが表示されなくなります。庫内を冷却する必要がある場合は、自動的にコンプレッサーが作動します。
- ・冷却されていないクリームをコンテナに入れた場合や、長期に使用しない状態から電源を入れた場合は、温度警告(temperature alarm)のテキストメッセージが表示されます。これは冷却庫内の温度が 8℃を超えていることを意味し、急速冷却プログラムが作動します。約 10~15 分で使用できる温度設定(3.0℃~7.9℃)となります。温度警告のテキストメッセージはストップキーをタッチすることで表示されなくなります。

くデイモードン

・通常使用する場合はデイモードで使用します。このモードでは、ディスプレイ上にはクリームの温度と時間が 1 分間隔で交互に表示されます。庫内の温度が 8℃を超える場合は、クリーニングキーの横にある 3 つの赤い LED ランプが点滅します。庫内の温度が 7℃台まで下がると LED ランプは消灯します。



デイモードからナイトモードへの切り替えは、デイ/ナイトキーをタッチすることで切り替わります。





くナイトモードン

- ・ナイトモードに切り替えると、ディスプレイに「Please Cleaning」というテキストメッセージが表示されま す(英語)。クリーニングが必要な場合はクリーニングキーを続けて3秒タッチし、クリーニングをスタ ートさせてください。クリーニングの必要がない場合はストップキーをタッチすることでクリーニングの テキストメッセージが表示されなくなり、ディスプレイ上には三日月と庫内の温度が 5 秒間隔で交互 に表示されます。
- ナイトモードでは、クリームはホイップできませんが、冷却は行われます。
- ・ナイトモードの状態では、①毎日のクリーニング、②定期的なエアレギュレーションバルブのクリー ニング、③日時の変更、④ポーションサイズの変更の機能が使えます。
- ・ナイトモードからデイモードへの切り替えは、デイ/ナイトキーを続けて 3 秒タッチするこ とで切り替えられます。

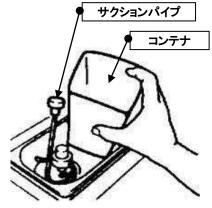


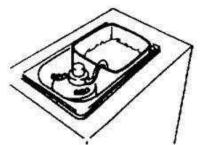
6) クリームの投入

- ・サクションパイプを上へ跳ね上げ、付属のコンテナに 5°C 前後 に冷却したクリームを投入してください。加糖する場合は、あらか じめ別の容器でクリームとグラニュー糖などを混ぜてからコンテ ナに移してください。
- サクションパイプをコンテナに戻します。

↑ クリームは必ず付属のコンテナに投入してください。機械本体の冷

却スペースにクリームを投入しないでください。







7) ホイップクリームの固さの調整

- ・ クリームに取り入れる空気の量(オーバーラン)は、使用するクリームの脂肪分の比率や希望するホイップの固さなどの要件によって調整することができます。
- ・エアレギュレーションダイヤルを時計方向に回し、締め切った状態が"0"の位置になります。エアレギュレーションの横部に刻まれた刻印が"0"が同じ位置であることを確認してください。この状態では全く空気が入らないために、ポンプに過度の負担を与え



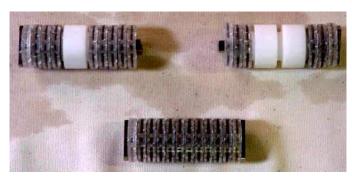
故障の原因となります。使用する場合は、必ず"1"から"9"の数字に合わせた状態で作動させてください。数字が増えるごとに取り入れられる空気の量が増えていきます。必要以上の固さでホイップし、バター化が見られるような場合は、経路内で詰まっている可能性があるので、洗浄してから再使用するようにしてください。

ポンプに負担をかけ過ぎないように、"3"以上で使用することをお勧めします。"1~2"で長期間使用すると、ポンプの耐久性が著しく低下し、交換までの期間が短くなります。また、全く空気を取り込まない状態"0"で使用することは避けてください。ポンプに重篤なダメージを与えることになり、故障の原因となります。

ザノマットは、35%の低脂肪から 45%を超える高脂肪のクリーム、またコンパウンドクリームまで、様々なクリームをホイップすることができます。

クリームの脂肪率に合わせて、ホイッピングパイプ内のディスクコラムの設定を変更することができます。

- ① ~38% ・・・・・・・・・・・・ ディスク(透明)12枚、ステンレスプレート11枚、白ブロックなし
- ② 38%~42% ・・・・・・・ ディスク(透明)9枚、ステンレスプレート7枚、白ブロックを1個使用
- ③ 42%~ ・・・・・・・・・・ ディスク(透明)6枚、ステンレスプレート4枚、白ブロックを2個使用





ディスクコラムは両端がネジになっています。



<ディスクコラムの取り出し方>



① 「SANOMAT」と表示されたスプリング・クリップを外し、マグネットコイルも一緒に外します。



② バルブヘッドのロッキングデ バイスを抜きます。





③ ロッキングデバイスを使い、ホイッピングパイプのロッキングボルト(バネ式)を押し込み、ホイッピングパイプを回しながら両端部(2ヶ所)を外します。

8) ホイップクリームの射出

- ・ デイ/ナイトキーを続けて3秒タッチし、デイモードにします。
- ハンドキーに触れている間にクリームがホイップされます。キーから指を離すとホイッ が止まります。



ハンドキーに触れたままポーションキー2をタッチし両方のキーから手を離すと、ストップ キーを押すまで連続でクリームがホイップされます。停止する場合はストップキーをタッ チしてください。またこの時、コンテナが空の状態にならないように注意してください。空の状態で作 動させ続けると、ポンプに重篤なダメージを与えることになります。



↑ クリームが空の状態で長時間作動させ、ポンプにダメージがあった場合は保証対象外になる場合がある。 ります。

3 つのポーションキーにはあらかじめ規定にサイズのホイップクリームが得られるように設定されて

います。(重量は目安です。空気 の取り入れ量や脂肪分の比率に よって得られるポーションサイズ は異なります)





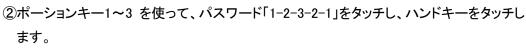


20 g

30g

40g

- ●ポーションキーに設定された重量(射出時間)は、簡単な操作で変更することができます。
 - ①デイ/ナイトキーにタッチし、ナイトモードにします。





- ③ディスプレイに"P1"と表示されます。"P1"はポーションキー1 の設定変更ができます。 "P1"にはあらかじめ 20g(1 秒)の設定がされていますので、ポーションキーの 1 と 2 を 使って秒数を 0.1 秒(2g)単位で変更できます。ポーションキー3 をタッチすると"P2"(ポーションキー 2) "P3" (ポーションキー3) と順番にディスプレイに表示されますので、その都度ポーションキー1 と 2 で設定変更できます。
- ④ストップキーをタッチするか、設定後 60 秒経過すると、自動的にナイトモードに戻ります。
- ⑤ "P4"では、"P1"から"P3"と同様に 4 つ目のポーション設定ができます。設定後は、ハンドキーに触 れたままポーションキー1をタッチし両方のキーから手を離すと、4つ目のポーション量が射出されま す。



クリームの性質上、脂肪分の比率や空気の取り入れ量などの要素により得られるホイップクリームの **重量には誤差が生じます。**





9) 洗浄について



ザノマットを常に良い状態で使用いただくために、機械の洗浄は必ず行ってください。

洗浄の頻度、方法は、以下の表を参考にしてください。

| いつ | 清掃手順 | 対応ページ |
|---------------|---------------------|-----------|
| 毎日 | ① 消毒洗浄 | 9~11ページ |
| 週1回 | ② エアレギュレーションダイヤルの洗浄 | 12ページ |
| 数日電源を切る前 | ② 消毒洗浄 | 9~11 ページ |
| | ③ エアレギュレーションダイヤルの洗浄 | 12ページ |
| 数日電源を切った後、再使用 | ① 消毒洗浄 | 9~11 ページ |
| トラブル発生時 | ② 分解洗浄とパーツチェック | 13~14 ページ |



ザノマットを安全にお使いいただくために、必ず毎日指定の方法、推奨洗剤で洗浄をお願いいたします。その他の洗浄方法を行った場合は、機械の補償対象から外れます。



使用したまま放置するとバクテリアが繁殖し、質の低下や健康被害の原因となります。



ザノマットの洗浄に高圧蒸気を使ったり、直接ホースで水をかけたりしないでください。電気系統などの故障の原因となります。



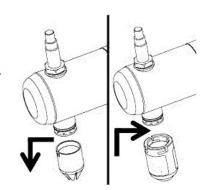
洗浄の際には、保護のためにゴム手袋を装着することをお勧めします。

① 消毒洗浄(毎日のクリーニング)

- ①本体のふたを外し、サクションパイプを跳ね上げ、吸い込み口をペーパータオルなどで拭きます。 その後、ガーニッシングノズルからクリームが出なくなるまでハンドキーをタッチします。
- ②デイ/ナイトキーをタッチし、ナイトモードにします。
- ③クリーニングキーを続けて3秒タッチします。自動的に冷却機能が停止します。
- ④コンテナを 40~50℃の流水で洗浄し、戻します。
- ⑤ガーニッシングノズルの下にバケツを用意します。
- ⑥コンテナに 40~50°Cのぬるま湯を 1.5L 注ぎ、クリーニングキーを押すと自動的に 3 分間の予備洗浄(ステップ①)を行い、自動的に止まります。
- ⑦ガーニッシングノズル(黒)を洗浄ノズル(白)に付け替えます。



<u>洗浄ノズルでクリームを射出しないでください。つまりの原因となります。</u>





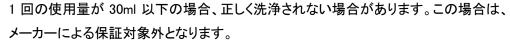


- ⑧取り外したガーニッシングノズルは 40~50℃の流水で洗浄してください。
- ⑨コンテナに 40~50°Cのぬるま湯を 1.5L 注ぎ、洗浄消毒液を 30ml 投入します。



メーカー推奨洗剤 「プロバイオクリーン N20ND」 (取り扱い:2kg 入りボトル)

- ・ 50℃以下で使用した場合でも洗浄消毒効果を発揮します。
- 洗浄と消毒が一度に行えます。





↑ 他の洗剤を投入したり、洗剤を混ぜて使ったりしないでください。

- ⑩クリーニングキーをタッチすると自動的に 3 分間の本洗浄(ステップ②)を行い、自動的に止まりま す。
- ⑪コンテナに付着した洗浄液を 40~50°Cの流水で洗い流し、コンテナに 1.5L の水道水を注ぎます。
- ⑩クリーニングキーをタッチすると自動的に 3 分間のすすぎ(ステップ③)を行い、自動的に止まりま す。
- ③コンテナや本体をタオルなどでふき取り、洗浄ノズルとガーニッシングノズルを付け替えます。翌日 用のクリームをコンテナに投入し、蓋を戻しクリーニングキーをタッチします。これでクリーニングが 完了し、ナイトモードとなり冷却機能が再稼働します。この状態でディモードにすれば、すぐに使うこ ともできます。
- ④翌日に使用する予定がない場合は、クリームをコンテナに投入せずに電源を入れた状態にしてくだ さい。数日間使用しない場合は電源を切ってください。

洗浄作業中は、赤い RED ランプが作業ステップのどの段階にあるかを点滅で示し、さらに手順がディス プレイに表示されます(英語)。指定通りに作業を行わないと次のステップに進めませんので、必ず衛生 基準が守られます。





ストップキーを続けて3秒タッチすれば、いつでも作業を中止できます。

- ●S2 は毎日同じ時間に洗浄がスタートするようにあらかじめ設定することもできます。
 - ①デイ/ナイトキーにタッチし、ナイトモードにします。
 - ②ポーションキー1~3 を使って、パスワード「1-2-3-2-1」をタッチし、ハンドキーをタッチします。



③ポーションキー3 をタッチして機械の時間を設定します。 P5=分 P6=時 P7=日 P8=年

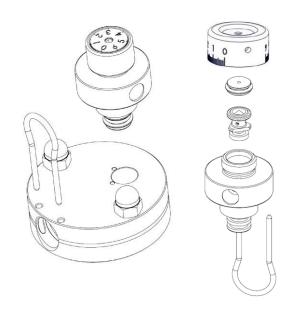


- ④ポーションキー3をタッチして"P10"にし、ポーションキー1と2を使ってクリーニング表示される時間を $0\sim23$ 時で設定します。
- (5)ストップキーをタッチすると、設定完了です。
- ●S2 には、あらかじめ 7 日ごとにエアレギュレーションダイヤルのクリーニングを促すプログラムが組み込まれています。クリーニングキーをタッチすることでディスプレイに手順が表示されます(英語)。



② エアレギュレーションダイヤルの洗浄 (週1回)

- 毎日のクリーニングを最初に行ってください。
- サクションパイプを外し、エアレギュレーション ダイヤルを上方に引き抜きます。またロックピンを上方に引き抜きます。
- エアレギュレーションダイヤルを時計回りに最後まで回してエアレギュレーションバルブから外します。ロックピンを使ってエアレギュレーションバルブの下方向から押し、バルブ内のパーツを取り出します。
- ・ 固まったクリームが付着している場合は、付属のクリーニングブラシなどを使って洗浄してください。また、ゴムパッキンに劣化や亀裂などがありましたら新しいものと交換してください。
- ・ 殺菌洗浄液を投入した湯で各パーツを洗浄し、すすいだ上で元のように組み上げてください。









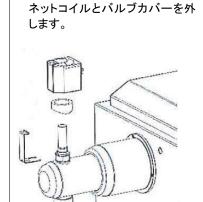
<u>^</u>

週 1 回の洗浄以外に、クリームが通常よりゆるめにホイップされる場合にも、エアレギュレーションダイヤルの内部を洗浄するのが効果的です。特に空気の量を調整する弁の部分に固まったクリームが付着すると、空気量の調整が困難になります。内部パーツを取り出すには、ロッキングデバイス(11051)を使うのが便利です。

③ 分解洗浄とパーツチェック

①スプリング・クリップを外し、マグ

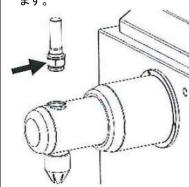
・トラブルが起きた場合は、分解洗浄をしてください。



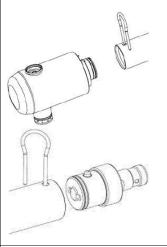
④ロックピンを使って、エアレギュレーションダイヤル内のパーツを取り出します。



②付属のスパナを使って六角ナット (厚)を回し、マグネットバルブを 外し、水が掛からない場所に置き ます。



⑤先端部分を本体から引き抜き、ロックピンを使ってバネボタンを押しながら回転させるようにして前後のパーツを外してください。



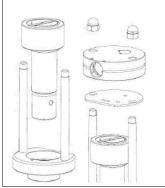
③吸引パイプを外し、エアレギュレーションダイヤルとロックピンを外します。



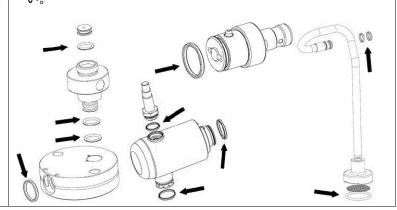
⑥付属の白い押し出し棒を使って ホイッピングパイプの中のホイッ ピングディスクとステンレスプレー トを取り出してください。両端がね じで止まっていますので、全てバ ラバラにしてください。



⑦付属のソケットレンチで 2 つのナットを外し、バルブヘッド、プラスチックディスク、ポンプを取り出してください。



⑧各所に取り付けられているゴムパッキン(O リング)が紛失していたり劣化していたりしないか確認してください。必要があれば取り替えてください。



・組み立ては逆の手順で行なってください。アルコールを噴霧しながら作業すると衛生的です。



<分解>

分解洗浄する場合は、電源を切って行ってください。

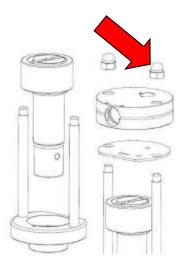
<洗浄>

- 分解した全てのパーツの汚れを確認し、きれいに洗浄してください。(0 リング等)
- ・ポンプを洗浄する場合は、真ん中のくぼみより下のモーター接続部に水が かからないように注意してください。ポンプ内に封入してあるオイルが漏れ る原因となります。ポンプを水につけたまま放置しないでください。クリー ムはポンプの上部までしか還流しません。
- ・ポンプ上部のパーツ(ベンスプリングキット)は取り外して洗うことができます。(右写真上)
- ・各部品に付いている汚れが落ちにくい場合は、洗浄消毒液をぬるま湯に入れ、クリームが通る経路をスポンジ、ブラシ等を使用し洗浄してください。 (右写真下)
- ・パーツの水滴を拭き取る場合は乾燥した布、もしくはペーパータオル等を 使用するようにしてください。



<組立て>

- ・組み立ては分解の逆の手順で行なってください。
- ・ポンプを戻すときは、ポンプ下部の回転軸がモーターの接続部にフィットするようにしてください。
- ・バルブヘッド上部 2 か所のボルト(矢印)を止めるときは、付属のスパナを使い、左右均等の力で締めるようにしてください。傾いていたり、強く締め過ぎていたりすると、ポンプとステアリングが強く接触して、ポンプに負担がかかります。また、ホイッピングディスクが削られ、良い状態でホイップできなくなります。(右写真)
- ・O リングが正しく設置されているか確認しながら組み立ててください。O リングの周りに付属のグリースを塗布すると、ゴムの柔軟性が増し、耐久性が上がります。
- ・組立てる際には、アルコール等の消毒液を使用しながら、組み立てる ようにしてください。
- ・全てのパーツを組み終えたら、最後に経路内にアルコールを通す事でより 衛生的に使用することができます。
- ・分解した状態でパーツを保管する場合には、部品同士が重なり合わないように置き、水滴が付かない状態で置くようにしてください。くぼみ、穴があるパーツはその部分を必ず下向きにし、水滴が残らないようにしてください。最後にアルコールをかけ、布などをかぶせて保管するようにしてください。









10)フロンガスの点検

ザノマットには冷媒としてフロンガス(R134a)を使用しています。

業務用機械につきましては使用者(第一種及び第二種特定製品の管理者)による定期的な点検が推奨されています。(フロン排出抑制法 第 16 条)

3か月に1度以上(推奨点検頻度)の目視による簡易点検と、点検記録の保管をお願いします。フロンガスの「漏えい」や機械の「異常」をより早期に発見するためには有効な手段です。安全や機械の維持が確保できない場合は、専門の業者(第一種及び第二種特定製品整備業者)に点検を依頼してください。

<点検・記録の例>

| 点検日 | 点検者 | 目視による外観点検 | 異音の感知 | 冷却のムラ |
|------------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 2020/00/00 | 00 | \square | \square | \square |
| | | | | |
| | | | | |

専門業者による点検、修理、冷媒の充填・回収等の履歴は記録し、廃棄後3年を経過するまで保存してください。(フロン排出抑制法 第16条)

点検により、フロンガスの漏えいが確認された場合、漏えい箇所の特定と修理が必要です。フロンガス の漏えいを確認したままでの機械の使用は原則として禁止されています。

ザノマットに使用されているフロンガス量は、法の定めた「フロン類算定漏えい量報告」には該当しません。(フロン排出抑制法 第19条)





11) 不具合があった場合の対処

①・・・・ポンプがクリームを吸い上げずカラ回りしている。(ポンプ・モーターは動いている)

多くの場合はクリームが通る経路内に「空気たまり」が発生することによってカラ回り現象が発生します。 この場合「エア抜き」の作業が必要となります。

ザノマットエア抜き方法 (写真使用機:ユーロ・クリーム 6L)

- ※各モデル共通で対応。
- ・分解洗浄組み付け後や、空回しをしてしまった場合、また長期間使用せず再使用をする際に『クリームが吸い上げない』場合に試してください。



この作業を行うと④で押さえている指が吸われる力が強くなるはずです。



⑦ 吸い上げの力が確認出来たら最後にアルコールを満たす。

⑧ エアレギュレーションを復元 する。





これでエア抜きは完了です。

この一連の操作で吸い上げがされない場合は、ナットの締め具合の再確認、電磁弁の作動(一部モデル除く)を確認して下さい。

それでも改善されない場合は機械故障の可能性がありますのでご連絡下さい。

「空気たまり」が原因でない場合

- ・すぐにスイッチを切り、ポンプ操作を停止してください。
- ・コンテナが空の場合は、クリームを補充してください。
- ・クリームが通る経路に空気が残り、吸い込みを阻害している場合があります。その場合は、
 - ① ステアリングディスクの両面をアルコールなどで湿らせる。
 - ② サクションホースまたはオプションのシリコンホースの吸い口を上に向け、強制的に水またはアルコールを流し込み、誘引を行う。
 - ③ エアレギュレーションケースを引き抜き、引き抜いた穴に水やアルコールを吸わせ、誘引する。
- ・六角ナットが緩んでいるために、ポンプが空気を吸い上げ、クリームを吸わないことがあります。

このような場合は、ナットを一度に締め上げず2~3回に分けて交互に締めるようにして下さい。

- ・エアレギュレーションダイヤルを適正な数値に合わせてください。
- ・各種 O リング(ゴムパッキン)が破損していないか確認し、破損している場合は交換してください。
- ・電磁弁部分を取り外し、洗浄してください。

カラ回りを続けると、ポンプに負担が掛かり 高温になる現象が起こります。この場合、 ポンプの熱がプラスチックパーツに伝わり、 変形や熔解の原因となります。(右写真)







②・・・・ホイップしたクリームが満足いかず安定しない。

- ・クリームが凍っていたか、もしくは脂肪分が低すぎる可能性があります。
- ・コンテナにクリームを注いだ時点で温度が高すぎた可能性があります。
- ・エアレギュレーションダイヤルのノズルホール:小穴(p.17 No.40187)に クリームが張り付いている可能性があります。右図のように付属のブラシ で清掃してください。



- ・クリームの甘みが強すぎる可能性があります。
- ・クリームが一定にならず、沈殿している場合は時々コンテナの中をかき混ぜてみてください。

12) パーツの寿命について

ポンプ(X-PUM-007)は、使用環境によって耐用年数が変わりますが、消耗パーツとして交換が必要となります。

- *ただし、交換時期は乳脂肪比率、連続使用状況、加糖、空気の含有量、清掃状況、分解・組立て時の 状況などの様々な条件により耐用年数に大きな差が生じます。
- *ポンプに過度の負荷がかかる状態で(12ページ、13ページ参照)長期間使用すると、短い期間での交換が必要になる場合があります。

13) 廃棄について

機械本体を廃棄処分する場合は、一般ごみではなく、各行政区の法令に従って廃棄してください。

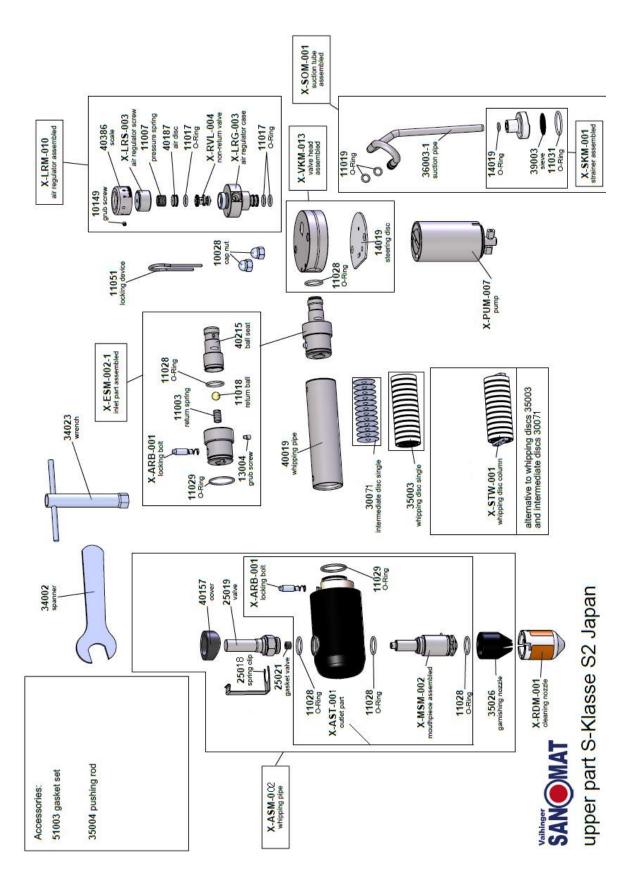
ザノマットはフロンガス(R134a)を使用しています。フロンガスを廃棄する場合は、資格を保有する専門の業者(第一種フロン類充填回収業者)に依頼し、廃棄を実施してください。 廃棄機械を業者に引き渡す際には、「引取証明書」の写しを作成し、機械と一緒に渡してください。





14) 本体・パーツ展開図

・パーツのご注文の際には機種名とパーツ番号でご注文ください。







| 番号 | 名称 | 番号 | 名称 |
|-------------|-----------------------------|-----------|----------------------|
| 40157 | マグネットバルブ・カバー | 11007 | エアレギュレーション用スプリング |
| 25018 | スプリング・クリップ | 40187 | エアレギュレーションプレート 0.8mm |
| 25019 | クリームフリー・マグネットバルブ | X-RVL-004 | ノンリターンバルブ(2 穴) |
| X-ASM-002 | アウトレットセット | X-LRG-003 | サクションケースエアレギュレーション |
| 35026 | ガーニッシングノズル | 11051 | ロッキングデバイス |
| X-RDM-001 | 洗浄ノズル | X-VKM-013 | バルブヘッド一式 |
| X-ESM-002-1 | インレット一式 | 10028 | Η ナット M8 |
| X-ARB-001 | ロッキングボルト | 14019 | ステアリングディスク |
| 40019 | ホイッピングパイプ | X-SOM-001 | サクションパイプセット |
| 35003 | ホイッピングディスク(1 枚) | X-SKM-001 | サクションバスケット |
| 30071 | ステンレスプレート(1枚) | 39003 | シーブ |
| X-STW-001 | ホイッピングディスクコラム | X-PUM-007 | ポンプ |
| | (35003×12 枚、30071×11 枚、ロッド) | 35004 | 押し出し棒 |
| X-LRM-010 | エアレギュレーション一式 | 51003 | 0 リングセット |
| 40386 | 目盛スケール | 34002 | スパナ |
| X-LRS-003 | エアレギュレーションダイヤル | 34023 | ソケットレンチ |





製品保証書

本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、無料修理規定に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。

| | | · · | |
|----------|-------|---------------|---|
| | 保証書番号 | | |
| | 機種名 | | |
| | 製造番号 | | |
| | ご住所(〒 | -) | |
| お客様 | お名前 | 4-2 | ¥ |
| | 電話() | | 羕 |
| お買い上げ年月日 | | 年 月 日 | |
| | 保証期間 | 本体お買い上げ日から2年間 | |
| 販売店 | 住所·店名 | | |
| | 電話() | - | |



ルーツ貿易株式会社 ROOTS TRADING CO., LTD. 干葉県市川市新田4-13-8〒272-0035 Tel.047-379-1506 Fax.047-379-1506

- ・ 保証期間内において、通常の使用状況下で可動部分(例:ポンプ、モーターなど)に不具合や欠陥 が認められた場合は、原因を検証し、交換部品の費用を売主が全額負担いたします。
- ・ ただし、「ザノマット専用洗浄殺菌消毒液」「メーカー推奨洗剤」を使用せずに問題が発生した場合は、 都度原因を検証し、保証対象に当たるか精査します。
- ・ 消耗品(例:O リング、ガーニッシングノズルなど)は保証期間内であっても保証対象外とさせていた だきます。
- ・ 不当な修理及び改造、酷使、過失、手入れ不足、事故が原因となる故障については、保証の限りではありません。
- ・ 購入後、他者に贈与、転売する場合は、必ず取扱説明書及び付属品を付属してください。説明書を 読まずに故障した場合は、保証対象外とさせていただきます。





ザノマット メンテナンス依頼書 (FAX 047-379-1506)

*本紙をコピーしてお使いください。

| 依頼日 | | | | |
|---|------------------------------|-------------------|---------------|--|
| 店名·事業所名 | | | | |
| 依頼者 | | | | |
| 連絡先電話番号 | | | □電話連絡を希望 | |
| 連絡先 FAX 番号 | | | □FAX による回答を希望 | |
| 使用機種 | □S2 | | | |
| | □クリームを吸わない □ | 普段よりクリームカ | が柔らかい | |
| | 口普段よりクリームが固い 口機械の下から茶色い液体が出る | | | |
| 症状 | □音が気になる □匂いか | ヾ気になる □漏 | 電する | |
| | □その他[| |] | |
| | | | | |
| いつごろから症状が | 現れましたか? | | | |
| 過去に同様の症状に | はありましたか? | 口はい 口いし | ヽ え | |
| 症状の原因となるよ | うな事柄がありますか? | □はい □いいえ | | |
| 原因として思い当 | たることがあればご記入 | | | |
| ください | /こめここがのかのあこ <u>品</u> りく | | | |
| ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | | | | |
| <使用状況> | | | | |
| 毎日の洗浄は「専用 | 洗剤」を使っていますか? | 口はい 口いし | ^え | |
| 問い合わせ前に分類 | 解洗浄は行いましたか? | 口はい 口いし | ^え | |
| | | ロエアレギュレーション内部 | | |
| 分解洗浄けどの | 部分まで行いましたか? | ロマグネットバルブ(電磁弁) | | |
| カ 権ががけなどの部分 よくりい よじたが : | | ロホイッピングディスク(撹拌部分) | | |
| | | ロポンプ | | |
| 機械洗浄担当者は | 決まっていますか? | 口はい(人) | □いいえ | |
| どのようなクリームを | をご使用ですか? | | | |

*お急ぎの場合はお電話にてお問合せください。 上記の内容に基づきヒアリングさせていただきます。 平日 9:00~17:00 時間外、土日祝日 留守電対応 047-379-1505



ルーツ貿易株式会社 ROOTS TRADING CO., LTD. 千葉県市川市新田4-13-8〒272-0035 Tel.047-379-1505 Fax.047-379-1506